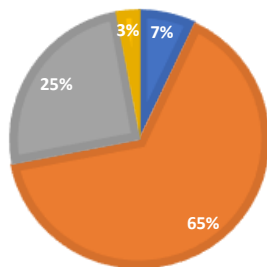


令和5年度 特別の教育課程における英語活動の保護者アンケート結果

上尾市内全小学校では、文部科学省の指定を受け、令和2年度より教育課程特例校における特別の教育課程を実施しております。1年生は、年間34時間、2年生は年間35時間に英語活動の実施を通して、児童のコミュニケーション能力を育成してまいりました。つきましては、その効果の検証に伴い、1・2年生保護者にアンケートを実施しました。以下、結果になります。

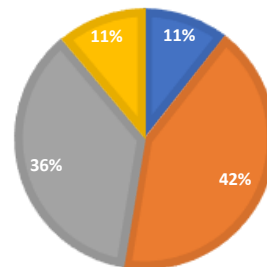
1 本校は積極的に英語活動を推進しているか。

■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■まったく思わない



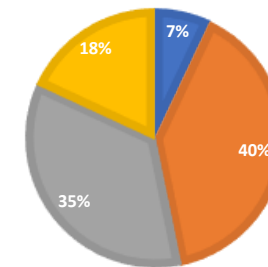
2 お子様は学校の英語活動の様子について話している。

■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■まったく思わない



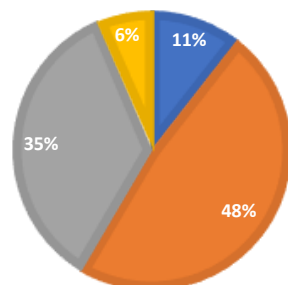
3 お子様は、ご家庭で時々英語を使って話そうとしている。

■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■まったく思わない



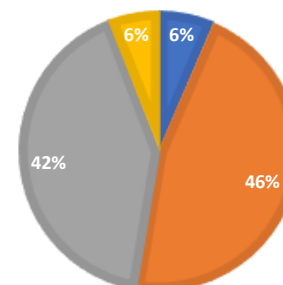
4 お子様は、日本や外国の文化に興味・関心を示している。

■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■まったく思わない



5 本校の英語活動は、お子様のコミュニケーション能力の育成に役立っている。

■よく思う ■そう思う ■あまり思わない ■まったく思わない



ご協力ありがとうございました。

本校の英語活動についての感想や改善のためのご意見

- ・算数体育ができない子も英語が出来ると生き生きします。自分の得意を1つ増やせる機会があるなら低学年からの英語教育の意味があるのではないのでしょうか。自信は何より学ぶ意欲につながると感じています。
- ・アルファベットや単語などを覚える際に、ユーモアを交えて教えてくださり、楽しく学べるとのこと。3年生の授業に期待しているようです。
- ・一年生から英語教育を取り入れてもらって、よかったです。国語、算数が主な教科ですが、英語も先取り学習だと学びやすい気がします。
- ・低学年のうちからゲームなどを通して学習しているので、英語に抵抗感がなく親しめていると思う。
- ・英語という言葉があることを知る、慣れる、知っていると言うことは早い方が良いと思うので、一年生からあって嬉しかったです。
- ・英語に興味を持って3年生に進級できることがいいと思う。
- ・算数体育ができない子も英語が出来ると生き生きします。自分の得意を1つ増やせる機会があるなら低学年からの英語教育の意味があるのではないのでしょうか。自信は何より学ぶ意欲につながると感じています。
- ・内容は詳しくは言わないですが、楽しそうに、ワン、トゥー、スリー、ドゥーユーライクスポーツ！とか言ったりするので、英語を身近なものにしていただいて、ありがたいなと感謝しています。
- ・早い内から英語に親しむのは経験上、役に立つと思うので、1年生からの英語活動の実施は正解だと思いますし、子供も楽しんで受けてるようです。一番好きな教科を聞いたところ、英語でした。英単語や、ちょっとしたフレーズを家では話してくれています。
- ・週に1回とは言わず英語教員と自由に交流を持てる時間を作って遊びながら、日常の会話をしながら英語に触れられる時間がたくさんあると良い気がします。
- ・英語活動に注力されている事には気づいていませんでしたが、確かに、日常生活で動物や食べ物の英単語を話す機会があり驚く事がありました。できれば、学校で活動されている内容を把握できるとありがたいです。学校で学んだ事を家庭でも楽しく復習できれば有意義なものになるかと思います。
- ・英語のヒアリングや音読等、宿題があるとより身につき、将来役にたつと感じる。
- ・実際に使うことに力点を置いた授業がいいと思う。